

かと通  
2019  
SPRING  
平成31年春季号

# 都議会公明党 東京都議会議員 加藤まさゆき

通信



都議会第1回定例会(2/20~3/28)では、避難所ともなる学校体育館のエアコン整備や多子世帯への保育料支援などの他、保護者の体罰禁止を盛り込んだ子供虐待防止条例、一般客室まで対象を拡大した建築物バリアフリー条例など、命を守り誰もが住みやすい東京を目指し、都議会公明党の主張を数多く反映することができました。

## 学校体育館への エアコン整備を加速



### 初めてリースによる設置補助で区市町村を支援

公明党の提案・取組で災害時に避難所となる体育館へエアコン設置が進みます。都は区市町村の財政負担を軽減するため、公立小中学校の体育館へ設置費用を助成する制度を30

年度の補正予算で創設しました。加えて31年度からは、初期費用を安く抑えられるリース方式についても初めて補助対象に加えました。

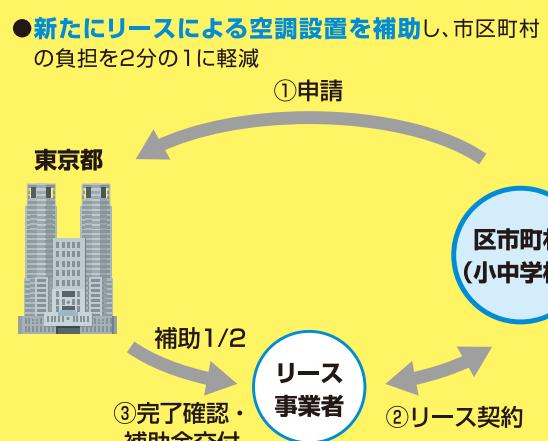
### 災害時の避難所支援

都の補助率を  
2/3へ引き上げ

(31年夏頃までに整備計画策定が要件)

●30年度国庫不採択分及び31年夏頃までに整備計画を策定した分については、**国に代わり都が補助を実施**

都補助上限 76,000円/m <sup>2</sup>	都補助 1/2 → 2/3	区市町村負担 1/3
国庫補助上限 24,000円/m <sup>2</sup>	国庫補助1/3 →都補助 1/6	区市町村負担 1/2



## マイタイムライン作成セット 6月までに全児童生徒に配布 区市町村や防災イベントなどでも都民に提供

災害時に個人や家族の状況を踏まえた迅速な避難行動をとるためにには、いざという時の避難行動を我が事として模擬体験できることが重要です。そこで、自主的な避難行動につなげるためのマイタイムラインの作成や、地域で開催するワークショップで各自がマイタイムラインの作成に取り組むなどして、地域の防災力強化を進めるべきと提案しました。

これに対し知事は、幅広い水害に対応した都独自のマイタイムライン作成セットを区市町村や防災イベントなどを通じて都民に提供する他、将来の防災の担い手となる都内の児童

生徒に対して、出水期を迎える本年6月までに全員に配布し、家族とともに考えながらマイタイムラインの作成を行うよう促していくと答弁しました。



**都議会公明党の主張が  
数多く反映**



# ひのちを守る 未来を育む

## 幼児教育無償化を 都独自に拡大

国の幼児教育・保育無償化は大きく前進しましたが、0、1、2歳は非課税世帯だけが対象です。

そこで都議会公明党は、少なくとも2人目、3人目以降の多子世帯にあっては、都独自に課税世帯も補

助の対象に加えるべきと主張し、都は、「収入や第1子の年齢にかかわらず、第2子の保育料は半額、第3子以降は無償とする」と答えました。



### 0~2歳の多子世帯を支援

国制度		+	都独自の支援策
認可保育所等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3~5歳は完全無償化</li> <li>●0~2歳は非課税世帯のみ無償化</li> </ul>		
認可外保育所等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●認可保育所等の無償化対象世帯は一部無償化</li> <li>・認可の月額平均（0~2歳：4.2万円、3~5歳：3.7万円）まで支援</li> </ul>		<p>【認可、認証保育所等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもが2人以上いる世帯に対し、都独自の支援</li> <li>・第1子の年齢に関わらず、第2子は利用者負担半額、第3子以降は無償化</li> </ul> <p>【認証保育所等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●認可保育所と同水準まで引き下げるという考え方のもと、都独自の支援策を継続</li> </ul>
私立幼稚園等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3~5歳は一部無償化</li> <li>・月額2.57万円まで支援</li> <li>●預かり保育は、新たに保育の必要性の認定を受けた場合は上乗せ（別途月額1.13万円まで）して無償化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●都内平均保育料との差額を補助</li> <li>●年収約270万円以下世帯の軽減水準を維持するための補助</li> </ul> 

### 全国初の 体罰禁止規定で 子ども虐待根絶へ！

今定例会には都議会公明党が強く求めてきた子ども虐待防止条例案が提出されました。全国初の体罰禁止規定が盛り込まれ、虐待根絶へ公明党が明記を求めていた「警察との連携」への対応については、子どもの安否確認時などに「警察への迅速かつ適切な援助要請を明記した」「今後、東京全体の児童相談体制を強化する」と知事が答えました。

### 東京オリパラ大会に 子どもたちを無料招待！

2020年の東京五輪・パラリンピックに、私立も含めた都内の学校に通う全ての子どもたちを無料招待します。さらに、会場までの交通費や引率者数のチケットやトイレの確保、暑さ対策などの課題も早急に対処し、「希望する全ての子どもが観戦できるようにすべき」と提言。

知事は「観戦し、心のレガシー（財産）を残せるよう、関係機関と連携を図り、精力的に取り組む」と応じました。



### 空き活用

## 老健※を活用した短期 入所がスタート 空室情報を幅広く周知

※介護老人保健施設

老老介護で介護をする方が病気等になった場合、要介護者の受け入れ先がないという問題があります。

そこで、都議会公明党は、ショートステイも実施している老健を活用することを提案してきました。

都はこれを受け、昨年12月に老健ショートステイの活用事業を立ち上げ、現在124の都内老健施設がこの空室情報に登録をし、都老人保健施設協会のホームページに情報を表示しています。この仕組みを広く都民に周知し、現場のケアマネージャーが活用できるよう求めました。

都は今後、同ホームページがより有効に活用されるよう都の広報媒体で広く周知し、事業者団体と連携してケアマネに情報提供するなどして、在宅で暮らす高齢者を支援していきます。

